



研修実施報告 Web版

実施日：令和4年7月13日

実施場所：県立生涯学習推進センター

受講者数：25名

家庭教育・子育て支援活動交流研修会

職員研修
有志指導者研修
要請研修

県内の子育て支援の現状と課題について、講演と先進事例から学び、子育て・家庭教育支援の実践を交流しながら、切れ目のない持続可能な循環する具体的支援を考えることを目的として実施しました。

【講演】「福祉と教育の垣根を越えて つなぐ未来」

NPO法人はちのへ未来ネット 代表理事 平間 恵美氏



社会の変化のスピードが速い。できるときにできることをする！次のことは次、考えればいい！！

「八戸市は、地域の中で福祉と教育の垣根がない」このことについての実践をたくさんお話いただきました。「これだけの事業を行うには、単独ではなく、様々なつながりがあると良い。そのつながりは、いつもつながっている必要はなく、必要な時につながるゆるやかなつながりでよい」実際に活動されている講師の話は、とても説得力があり、今後の活動に活かせるヒントや力をもらった講演となりました。

誰と、どこで、何をするかまで落とし込むと、物事が動き出す！何か1つか2つは、必ずできることがあるはず。そこから実行していくと、実現に近付いていく！！

【ワークショップ】

「生まれる前から切れ目のない支援をするために
～持続可能な循環する支援～」



グループで課題を共有

午前中の講演で、思いを形にした様々な事業の話聞いたあとのワークショップでした。自分たちも何かできそうだと思います参加者の皆さんは、それぞれが抱える子育て支援の課題についてグループで共有し、さらに、解決できそうな課題について「誰と、どこで、何をして」まで具体的に話し合い、すぐにでも取り組めるものができました。



《受講者の声》

- ・何かやってみたい、自分にもできるという気持ちになりました。
- ・やりたいことに対して、1つ1つやっていくことを洗い出して、できることから取り組んでいけば、いつかはできるということが勉強になりました。
- ・子どものために必要なことを、様々な人を結び付けて、つながることの大切さを学びました。
- ・小さなことでも形にする突破力の身につけ方を学ぶことができました。

《受講者の評価》

A (有意義)	100%
B (どちらかといえば有意義)	0%
C (どちらかといえば有意義でない)	0%
D (有意義でない)	0%

《担当者(佐々木)から》

講師の平間さんから、自分たちにもできるかもしれないと思える意欲、課題を解決するためのつながりの具体を教えてくださいました。今後の岩手の子育て支援関係者の活躍を願っています。